

7 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
1 本市のごみ減量政策の今と未来について 【質問趣旨】 川本市長就任直後の令和5年6月定例会にて、市長自身の選挙公約であった「可燃ごみ袋500円凍結」議案が上程され、議会において賛成多数の議決を経て、500円ではなく180円で令和5年9月よりゴミ袋の有料化が始まった。 この時市長は、議案上程時の説明、質疑に対しての答弁において「条例そのものに反対するものではなく、1年半から2年ほどゴミ減量の経過を見させてほしい」と発言されていた。条例施行から約2年を経た現在の状況及びこの2年間の取り組みを確認し、「凍結」に対しての市長の認識を確認する。加えてごみ減量政策を推進していくため、瀬戸市一般廃棄物処理基本計画に記した達成目標に向けた施策を問う。	(1) 凍結後、この2年間の取り組みについて	① 令和5年6月から現在までの本市におけるごみ減量の推移に対し、市長の認識を伺う。 ② 令和5年6月定例会での議員の質疑に対して市長は「令和4年3月定例会にて議会より提出された提言書については実現を目指して検討し、必要な政策を進めていきたい」や「せとまちトークで市民の皆さまからいただいた、プラ回収の頻度とか拠点場所に関しての声は非常に大きく受け止めている」と答弁された。この2年間でごみ減量政策について、市長から担当課へ提案を含めた指示はどのようなものがあり、反映され実施に至ったものは何か伺う。 ③ 市長は「尾張旭市と長久手市と足並みを揃えて」と説明していたが、ごみ減量施策について2市とどのような関わりをもち、それはどう反映されたのか伺う。 ④ 500円の凍結の理由の一つとしてコロナ禍や物価高騰を挙げられたが、物価高騰は現在も続いており、裏を返せば今後は回収事業に係る経費にも影響が出てくると予想される。この2年間で効果を維持し、経費を抑える工夫はなされたのか具体的に伺う。 ⑤ 市長の議案上程時の説明の中で「あくまで凍結であり減量の推移如何によっては皆さまと相談の上、しかるべき対応をしていく」と答弁されている。昨年度よりスタートした瀬戸市一般廃棄物処理基本計画に記された、令和15年度までの目標値、総ごみ排出量33,625t/年とその1つの指標である家庭系ごみ1人当たり423g/日の達成見通しをどう認識しているか伺う。 ⑥ 推移を見る期間は2年と発言されたが、2年経過した現在、ゴミ袋値上げ凍結に対し、市民に区切りの発信を市長自らが行うべきと考えるが見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。

2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。

3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(2) 令和6年度 市長と地域の懇談会を経て	① 令和6年5月から11月にかけて、市内全連区で懇談会を開催し、市長側の提案でごみの減量についてをテーマにし、参加者から様々な意見が出され、その内容は市ホームページにて公開されている。ごみ減量の課題について、市からは主に「ごみの総量は前年比3%しか減少していない」「調理くず、食べ残しが多いため食品ロス削減が重要」と報告された。懇談会参加者から、この2点の課題解決に繋がるような政策提案があったのか伺う。 ② 食品ロス削減対策事業の1つとしてコンポスト購入補助金があるが、可燃ごみで食品廃棄の割合が多いという認識であるならば、市民にその啓発を促すべきと考えるが、見解と今後の方策及びそれによって見込まれる効果を伺う。 ③ 報告の中で「市民の皆様と一丸となって取り組んでいきたい」とあり、同様のフレーズは市長発言にも散見される。ごみの総量削減を市民と一丸となって取り組むために、ごみ減量の意識を高めるべく市民への啓発をどの様に行っていくのか具体的に伺う。 ④ 報告の中で「次世代の人たちにバトンを渡す意味でも、ごみ全体を減らしていきたい」とある。将来負担のことと解釈するが、最終処分場、晴丘センター建て替え費用、一般財源に占める回収事業の将来的負担など、財政的理由を具体的に示し、共有することで懇談会の意味合いが充実していくと考えるが、今回はその形跡が見られない。一丸となって取り組んでいくためには、非常に重要な要素と考えるが見解を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

7 番	朝井 賢次 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3) 今後のゴミ減量政策について	① 瀬戸市一般廃棄物処理基本計画(令和6年度～令和15年度)は食品ロス削減推進計画としても位置づけられている。進捗を公表することで市民意識が持続していくと考えるが、目標数値と具体的施策を伺う。 ② リサイクルの推進として硬質プラスチック回収は近隣市でも取り組んでおり、ごみ処理施設建て替えの補助金獲得のための必須事項と聞いている。導入の可能性と予想される効果及び経費を伺う。 ③ 市民協働によるごみ減量、リサイクル推進の取り組み事例として、地域団体が資源回収ボックスを設置して効果を上げている。これを他連区に展開し、拠点の機能強化を後押しすることで、将来的に回収体制の見直しに繋がるのではと考えるが見解を伺う。 ④ この先高齢化による被介護者の増加に伴い、可燃ごみにおける紙おむつ割合は増加していくものと予想される。他自治体では可燃ごみの1割を占める紙おむつのリサイクルに取り組み、成果を上げており、可燃ごみ減量とリサイクル促進に繋がると考えるが見解を伺う。 ⑤ ごみ減量、リサイクル推進は多額の予算確保と全市民への啓発を不断に取り組んでいくことが必要であり、効果を上げるためにはトップである市長の想いと行動が不可欠である。今後のごみ減量、リサイクル推進を本市の基幹事業として進め、瀬戸市一般廃棄物処理基本計画に記された、数値目標を達成するよう市長の決意を伺う。

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。